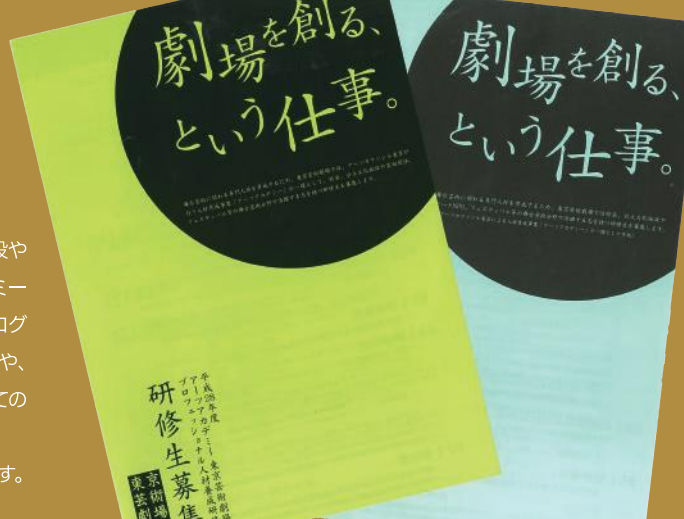


# 特集

## アーツアカデミー 東京芸術劇場 プロフェッショナル人材養成研修

東京芸術劇場では、アーツカウンシル東京が行う人材育成事業の一環として、公立文化施設やアートNPO、芸術フェスティバル等の舞台芸術分野で活躍する人材を育てる「アーツアカデミー 東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修」を2013年度より実施してきました。本研修プログラムは、パフォーミング・アーツに関わるプロデューサーやコーディネーターとしての資質向上や、芸術分野でのキャリアチェンジに資する目的で、レクチャーやゼミ、現場での実務研修を通しての知識や技能の習得や、舞台芸術関係のネットワーク形成の機会を提供しています。

今回は、この研修プログラムを経験し、現在、様々な場で活躍する元研修生の声をお届けします。



### 大丸敦子

2013-14年度研修生(音楽分野)長期コース  
兵庫県立芸術文化センター 勤務

約2年間の研修期間の最後に、同期の演劇の研修生と共に、研修生企画公演として「OFF CLASSICS ~失われたリズムを求めて」の企画制作を行いました。現代音楽とコンテンポラリーダンスのコラボレーション公演として、アーティストや会場の手配、曲目の選定などをイチから行い、また、舞台技術チームの全面的なバックアップにより、舞台セットや演奏用プログラミングもオリジナルで作製するなど、芸劇の研修生ならではの公演となりました。コアな層向けの公演内容ながらチケットも売れ!研修の集大成となったこの公演を通して、プロデュースの大変さと喜びを改めて知り、この時の経験は現在の仕事にも活かしています。



### 中粉将樹

2015年度研修生(音楽分野)長期コース  
りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 勤務

研修生として東京芸術劇場開館25周年記念コンサート「ジョワド・ヴィーヴル〜生きる喜び」に携わりました。多くの方が関わる一大プロジェクトに、研修生でありながら参加できたことは貴重な経験でした。大学のアーツマネジメントの学部では体験できない本物の緊張感、現場の動き、アクシデントを経験することで、より深く「制作」という仕事を学ぶことができたと思います。研修生のレポート課題では、現場仕事と並行して日本・世界のアーツマネジメントについて理解を深める時間をもつことができ、自分の飛び込もうとしている業界について様々な視点から学ぶことができたと思います。



### 今井俊介

2016年度研修生(音楽分野)長期コース  
東京芸術劇場 勤務

音楽大学在籍時は「演奏すること」を専門に勉強しており、所謂アーツマネジメントの知識や経験は、学生オーケストラを運営する程度。座学と現場が絡み合ったアーツアカデミーのカリキュラムが、今の私を育ててくれました。特に非常に短いスパンで数多く提出する報告書を書く時間は、得た知識や現場経験を頭の中で醸成させ自分の言葉として発信する癖を身につける、非常に大切な時間だったと感じています。人類が長い長い時間をかけて育ててきた文化である音楽を、たまたま21世紀に預かった担い手のひとりとして、次の世代へ引き継いで参ります。



### 山際真奈

2017年度研修生(教育普及分野)短期コース  
上智大学大学院 在学

アーツアカデミー研修の醍醐味は、現場での驚きや課題を肌で感じると同時に、劇場内外でアーツマネジメントの知識を習得できたことです。英国フランチック・アssenブリーによるワークショップの際には、特に関心のあった社会関与の芸術という視点から、「芸術性とは何か」という問いを深めることができました(猿やダチョウになれることも魅力の一つでしょうか)。現在は、大学院で芸術哲学を中心に学んでいますが、研修での出会いや課題意識があったからこそ、机上の理論に留まらない思考や表現を心がけることができています。

### 佐々木千尋 2015-16年度研修生(演劇分野)長期コース としま未来文化財団 勤務

演劇で仕事がしたい。しかし、演劇で仕事をするとはどういうことなのだろうか。この研修に参加した一番の動機です。漠然としていた演劇を仕事にすることが、劇場での実務研修や多様なレクチャー・ゼミを重ねる中で「地域における公立文化施設の役割」や「役割を果たすための文化芸術の普及について」考えるようになり、自分が今やりたい仕事としての演劇がみえてきました。多角的に学び、多くの出会いに恵まれた2年間は、様々な世代の地域の人と、演劇だけではなく、多様な文化芸術の活動に関わる、現在の仕事との出会いにつながっています。

### 鹿野遼太郎 2017年度研修生(演劇分野)長期コース 某企業 勤務

約1年間の研修の中でも特に印象に残っているのは、人材育成事業や社会包摂に関わる事業です。今まで制作や企画という立場で舞台や表現に関わってきた自分にとって、なかなか触れることのなかったそれら領域での経験は、自分の価値観に大きく影響を与えてくれたものであり、今後の自身の道を決める上で、非常に大きな意味を持ったものになりました。悩むことや大変だったこともありましたが、こうして振り返ったときに、アーツアカデミーでの経験があったからこそ、今の自分があるのだとあらためて感じています。

## I N F O R M A T I O N

鑑賞サポート | 目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス(対象日限定・無料・要事前申込)等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

1~3月  
対象公演

東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.25  
東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.130、131  
「Le Père 父」

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296